

補充方式の改善から、35.47系カートリッジの場合、かんたんフィット針先の補充方式で、ぴったりフィットするプラスチック針先をご用意しています。

■準備品 ALLIN-ONE、カートリッジ、インク、スポイド、かんたんフィット針、マチ針、手袋、ティッシュ、など。

■作業場所 洗面、流し台が最適です。(インクは水で簡単に流し落とせます。)

※カートリッジのICチップ部分を水やインクで濡らさないようにご注意ください。



### ■満タン書換リセット

まず、カートリッジのインク残量記憶を満タンに書換てください。後でも良いのですが、経験から先に済ませておくことをお勧めします。ALLIN-ONEリセッターガイドはなしで目視で合わせます。

### ■書換処理

カートリッジのIC部分をガイドに沿わせて7ピンに押し当てます。  
ランプが赤の点滅から約3秒程度でグリーンの点灯に変わり完了です。  
赤の点灯のままなどの場合はリセット失敗です。10秒程時間を置いてから、再度、ピン位置をよく確認して押し具合、並行度を調整してお試し下さい。

### ■電池の交換方法(通常、インクを使い切るまで不要です)

本来は、内部電池が無くなれば、買い替えですが、交換も可能です。(ホームページ参照 <http://jacob.net/ink/allinonebattery.html>)

### ■構造について

この35.47系は排出口のみで内部は点滴チューブのような構造です。総重量は満タンで32g程度、空の時は15gです。インクは15ccから17cc程度補充できますが、満タンにすると漏れやすいとのユーザー様からの情報もあり、控えめにご利用ください。

### ■弁膜の穴あけ

排出口には弁とスプリングがあります。また、奥に円盤型フィルム状の逆流防止の弁膜があります。この弁膜はフリーに前後できる形で、インクが出る時には出口側により入ろうとするとタンク側により、ぴったりとくっついて弁を閉めた状態になります。この逆流防止弁膜があるため、そのままでは補充できません。まず、この弁膜に針で穴を開けて補充を可能にします。

材質はナイロンフィルムの円盤のようで、薄いものです。まち針の短く、細いタイプのもので、奥の逆流防止弁膜に数箇所の穴を開けます。真ん中は、スプリングに押された弁がありますので、周囲に針を差して弁の奥に届くように差込みます。

左右から数回差し込むとフィルムを突き破る感触がありますので、数箇所に適当に穴を開けます。あまり長い針は、入りすぎて中の袋を突き破り、インク漏れを起こしますのでご注意ください。25mm程度差し込めば膜は破れます。30mm以上差し込むと危険です。

### ■プラ針のカット

プラ針の先端をカラーキャップの先2ミリから3ミリ程度で斜めにカットします。そのプラ針をスポイドにセットし、インクは10cc程度吸い込み準備をします。

### ■インクの補充

逆流防止弁膜の穴は針先の小さな穴が数箇所開いているだけなので、急いで入れないで、スポイドを押し当てて手のひらで押しつけながらゆっくりと補充してください。少しずつ入っていきます。押し当てて、加圧しますので、インクの噴出しにはご注意の上、洗面台などで行ってください。

インク切れ警告の後、15cc程度は入りますので、再度5cc程度をスポイドに入れて補充してください。ケースの腹を押さえていると満タンになったとき膨れてきて感触でも満タンを確認できます。仕上げに、カートリッジを起して内部エアを出口方向に寄せてスポイドで2cc程度吸い出してエア抜きをして完了です。(満タン状態だと圧がかかり漏れ出しやすいので、控えめに) スポイドを抜く前に、陰圧にしてから抜いてください。そのままだと、プシューとインクが飛散して悲惨な目に合いますのでご注意を…。

■インク交換時は全色同時交換が最も効率的、経済的です。

画像は32系ですが右のガイドなしの方法になります。



## 35シリーズ



ARKNET INK-SHOP ネット通販事業部

URL:<http://jacob.net/ink> e-mail: [arknet@jacob.net](mailto:arknet@jacob.net)  
tel: 086-273-4552 fax: 086-271-8062  
住所: 〒703-8236 岡山市国宮4-1-7